

TQアンカー取付説明書

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

摘要表

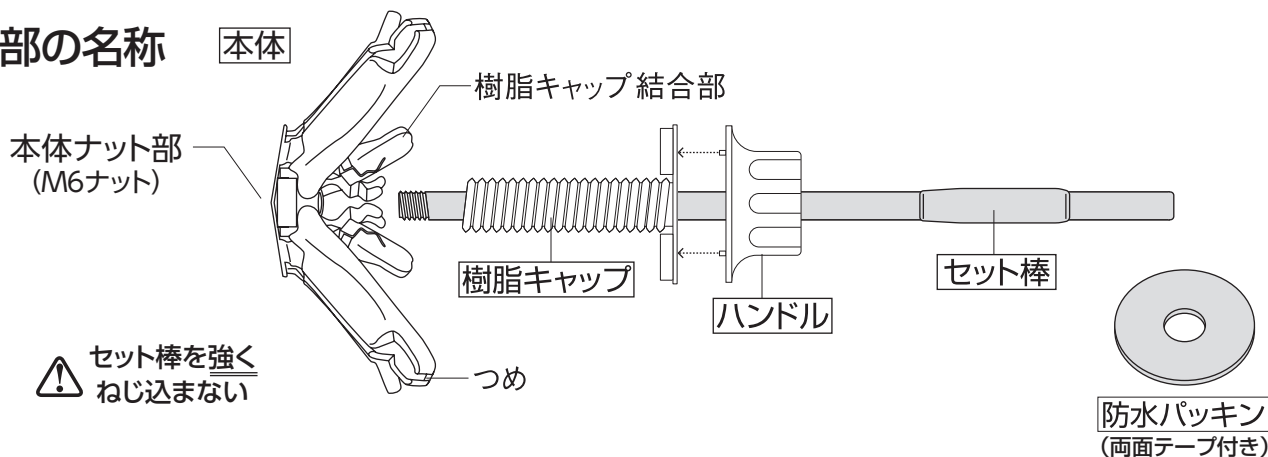
適合壁厚	壁穴径	壁裏スペース	開脚最大径	本体ナット部
3mm～31mm	φ25	奥行30mm以上	φ65mm	M6ねじ

TQアンカー引抜強度(参考値) 6mm鉄板 破壊強度 : 4kN(400kgf)
破壊状況 : TQアンカー破壊

使用上の注意

- ・上記強度データは独自規格試験値です。使用環境により異なりますので、あくまでも目安としてください。
- ・施工前に壁材・取付物の強度評価を十分に行なってください。これらの損壊による落下・損害等の事故については当社は一切責任を負いません。
- ・壁の強度につきましては施工元または製造元にご確認ください。
- ・壁裏に補強材などの障害物が無いことを確認してからお使いください。
- ・施工の際には、手の保護のために手袋を着用してください。
- ・樹脂キャップ切断、本体から爪の取り外しの際には、指・爪先のケガには特にご注意ください。
- ・本体の樹脂キャップ結合部を変形させると、樹脂キャップとの結合ができません。強い衝撃を与えないでください。
- ・樹脂キャップは滑らかに切断してください。切り口が粗いと本体の樹脂キャップ結合部に引っ掛かり、本体と樹脂キャップの結合を妨げます。
- ・アンカーにボルトをねじ込む際には、優しくねじ山を探ってください。強くねじ込んだり突いてしまうと、ナット部がねじ噛みをしたり、アンカーが壁裏に脱落するおそれがあります。
- ・本体素材はステンレスと高耐食表面処理鋼を採用しておりますが、過酷な腐食環境では使用できません。また、長期間使用により金属疲労が生じ、強度低下が起こります。生命や高価品に関わる用途、構造体への用途では使用しないでください。
- ・水廻りでのご使用では、壁裏に漏水しないように防水パッキンを使用し、ねじ穴等に十分シリコンでコーキングをしてください。漏水による事故につきましては当社は責任を負いません。

各部の名称



部品を上図のように組み合わせてください。

取付方法

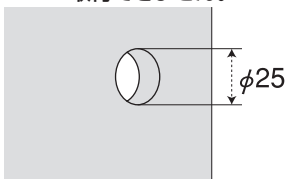
必要工具類

- φ25ホールソー
- ハサミ・カッター等

1 穴あけ

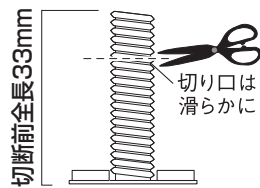
ホールソー等で壁にφ25の穴をあけます。

※φ25mm以外の穴では取付できません。



2 壁厚に合わせて樹脂キャップを切断

壁の厚みを確認し、ハサミ等で樹脂キャップを切断します。



樹脂キャップ切断後長さ早見表

(単位:mm)

壁厚	31	30	25	20	15	10	9	8	7以下3まで
樹脂キャップの全長(切断公差±2mm)	33	32	27	22	17	12	11	10	10

壁厚+2mm (最低限必要な長さ)

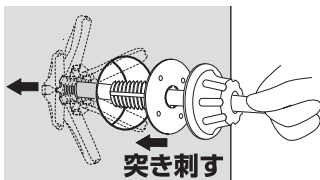
樹脂キャップは逆ねじです



壁の材質によっては、ホールソーにより、穴ふちにバリが発生します。バリの厚みも壁の厚みに加算してください。

3 本体挿入

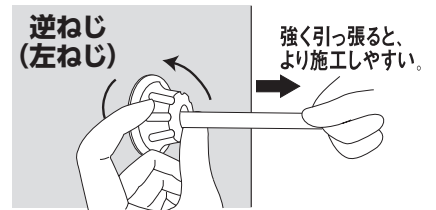
樹脂キャップと結合せずに**本体のみ**をφ25の穴に突き刺します。



4 アンカーを壁に固定

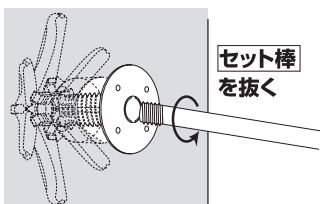
(壁をはさみこむ)

- ①セット棒(治具)を引っ張り、アンカーを壁裏にピタッと貼り付けます。
- ②貼り付けた状態を保ちながら、ハンドル(治具)の凸を樹脂キャップの凹と合わせ、左回しにねじ込んでいきます。
- ③回らなくなるか、パチッとねじ飛びするところまでねじ込みます。



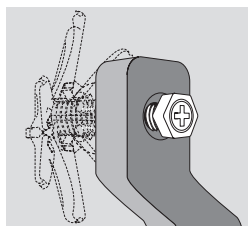
5 治具の取り外し

ハンドルとセット棒を取り外します。

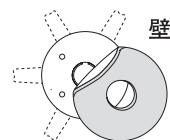


6 ボルトで取付物を固定し作業終了

優しくねじ山を探ってください。ねじが入ったら、最後は手締めでがちりと固定します。



水廻りのご使用には防水パッキンを樹脂キャップに貼り付け、さらにねじ穴にシリコンで十分にコーキングしてください。



一般的にねじ製品はゆるみの生じる可能性があります。定期的に増し締めをしてください。取付ボルトのゆるみによる事故には一切責任を負いません。